

CPT-11 B法+Pmab

CPT-11(イリノテカン) + Pmab(ベクティビックス®)

【適応】

KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
RAS (KRAS 及び NRAS) 遺伝子変異の患者は適応外。

【投与スケジュール】

	Day1		Day15	
Pmab 6mg/kg	↓		↓	
CPT-11 150mg/m ² 90 分かけて	↓		↓	

2 週間に 1 回点滴を行う。

※本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2 または 0.22 μ)を使用すること。

※重度(Grade3 以上)の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

Day1、15

制吐剤 +抗アレルギー薬 30 分	Pmab 6mg/kg 60 分かけて	経過観察用 生食 100mL 60 分かけて	CPT-11 150mg/m ² 90 分かけて	ルートフラッシュ 15 分かけて
-------------------------	---------------------------	------------------------------	---	---------------------

※Pmab の投与量

重傷(Grade3 以上)の皮膚症状が発現した場合には、次表に従い本剤の投与量を調節すること。

皮膚障害発現時の 本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6 週間以内に Grade2 以下に回復	6mg/kg または 4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6 週間以内に Grade2 以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止		